

<b>碧南市</b>	所属議員	石川輝彦・神谷 悟
------------	------	-----------

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<b>具体的取り組み項目</b>	<p>【長期】 ・再生可能エネルギーの利用促進 ・省エネルギーの促進 ・緑地の保全と整備の促進</p> <p>【中期】 ・市内公共施設への充電ステーションの設置 ・水素ステーションの誘致</p> <p>【短期】 ・次世代自動車購入補助制度の拡充 ・公用車への次世代自動車の導入促進</p>	
前回まで 活動状況	<p>○カーボンニュートラルに向けた勉強会・先進地への視察を実施 ⇒環境省との勉強会、火力発電所との勉強会を開催、水素・再生エネルギーへの取り組み、電気バスの導入等の視察を実施</p> <p>○カーボンニュートラルへの対応に向けた諸施策の提言 ・一般質問による提言・・・令和3年9月（神谷）、令和3年12月（石川）、令和4年6月（石川）が実施 ・要望書の提出・・・令和3年9月27日及び令和4年9月29日に提出</p>	
<b>今回</b> 具体的活動	<p><b>○ゼロカーボンシティを宣言</b></p> <p>令和4年12月議会での私たち市民クラブの一般質問の提言を受けて、令和5年度施政方針において、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を市民と事業者とともに目指すことを宣言した。</p> <p><b>○3月議会での総括質疑（石川輝彦）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルに向けた施策の展開と今後の進め方について</li> </ul> <p>Q：中小企業に向けた施策の展開方法について</p> <p>A：広報へきなん等への掲載や企業訪問での説明など、あらゆる機会を通じて周知する。</p> <p>Q：カーボンニュートラル宣言後のロードマップについて</p> <p>A：企業に向けては、新年度よりカーボンニュートラル推進のための補助制度を創設し支援するとともに、国や県の制度も幅広く周知する。市民に対しては、現在ある補助制度を継続することで、意識の醸成を図る。その中でまずは2030年の温室効果ガス46%削減を実現していく。</p> <p><b>○嶋口Gで碧南火力発電所のアンモニア混焼の試行を現地視察</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5つある発電設備中の1つの発電設備を使用し、アンモニア混焼試験を行っている。</li> <li>2021年10月から少量混焼を開始し、2022年7月で完了。</li> <li>2024年3月の20%混焼試験に向けて、設備工事を行っている。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">石川 輝彦 議員</p> <p style="text-align: center;">≪3月議会総括質疑 石川輝彦≫</p>  <p style="text-align: center;">≪碧南火力発電所視察≫</p>
今後の活動	<p>・令和5年度予算に計上されたカーボンニュートラル関連予算の執行状況を注視するとともに、新たな施策を調査研究し、引き続き市に対して提言活動を進めていく。</p>	